

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)博多駅東オフィス開発事業
建設地	福岡県福岡市博多区博多駅東三丁
用途地域	商業地域、防火地域
地域区分	7地域
建物用途	事務所
竣工年	2026年1月 予定
敷地面積	1,009 m ²
建築面積	845 m ²
延床面積	6,699 m ²

階数	地上8F、地下0F
構造	S造
平均居住人員	687 人
年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2024年8月7日
作成者	中山 晃都
確認日	2024年8月9日
確認者	大岩 大志

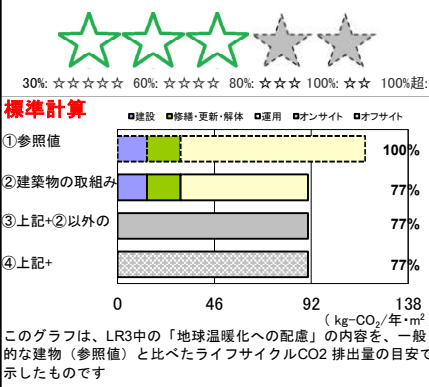
1-2 外観



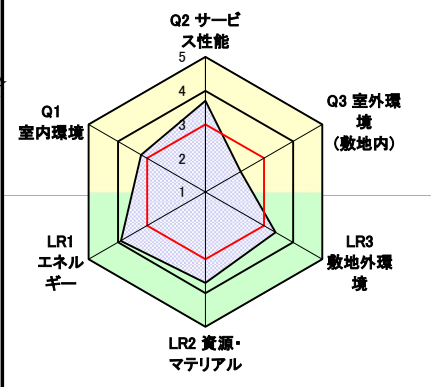
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

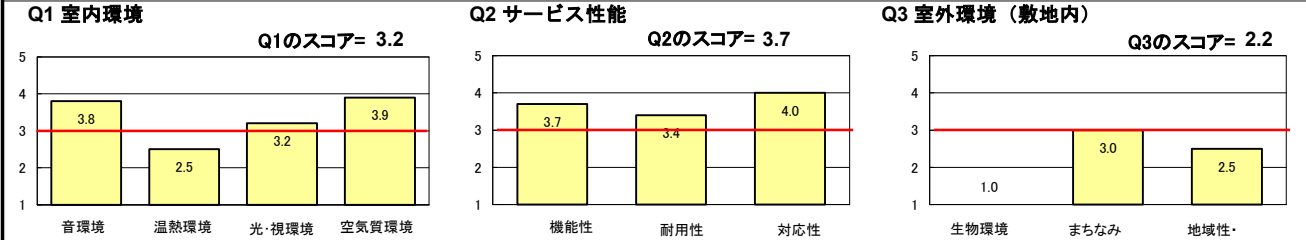


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

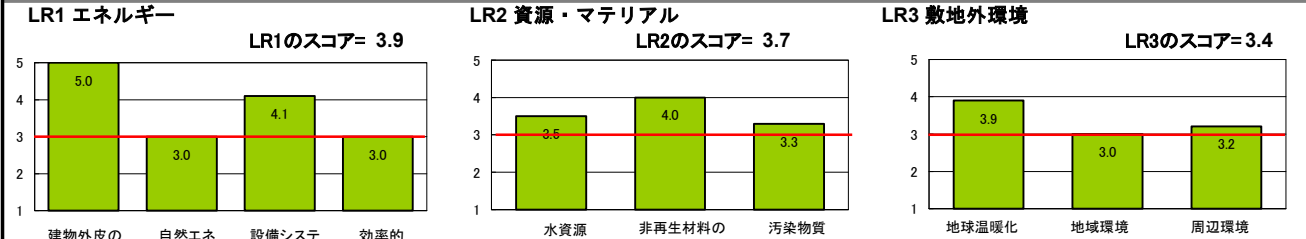


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合	福岡市博多区に建設されるオフィスの計画である。利用者の快適性向上の為に配慮計画に加え、高効率設備の採用による省エネ設計や、水・材料等の省資源への取組みで地球環境にも十分配慮した計画としている。	その他 特になし。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の建築材料を採用し、換気量は30m ³ /h・人以上を確保するなど、空気質環境の向上に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 外観の色彩や位置の配慮を行っている。また、外観パースを作成して景観検証を行うなど、まちなみに配慮している。
LR1 エネルギー	高効率な設備システムを導入し、省エネルギーに配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。
Q2 サービス性能	余裕のある天井高さやリフレッシュスペースにて執務環境向上に、更新間隔の長い仕上材や配管材を採用し耐用性向上に配慮している。また、階高や壁長さ比率に余裕を持たせフレキシビリティにも配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	節水器具の採用や再利用できるユニット部材の採用、使用材料を削減することで、省資源に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される